

天真寺門信徒会だより

2001
H13年
1月
Vol. 287

光壽無量 慶賀新年

2001 (平成13)年 元旦

めでたきは

常行大悲の

お念仏

喚ばれつ呼びつ

浄土への道

釋正念

み仏は

宇宙いっぱい

南無阿弥陀仏

ゆるされ生きる

いのち尊し

釋惠照



1月の行事

○元旦法要 1月1日 午後2時

元旦は家族揃って初参り

南無阿弥陀仏をとなふれば

十方無量の諸仏は

百重千重圍繞して

よろこびまもりたまふなり

(浄土和讃)

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時

おつとめ(正信偈和讃繰り読み)

法話・茶話会

○婦人の集い「新年会」

1月10日(水) 午前11時より

○仏教講座会

1月20日(土) 午後1時半

講師 本願寺布教使

桑原浄昭師(広島県)

○ヨーガ教室 1月17日(水)

31日(水) 各、午後1時より

2月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日、朝

○婦人集い 2月9日(金)

○仏教講座会 2月20日(火)

講師 本願寺布教使

三崎霊証師(福井県)

素直になりたいな

テレビディレクター、テリー伊藤

藤さんは「お笑いって、自分の弱

さや、だめなところをさらけ出す

こと。会社のトップの自殺が目立

つけど、虚勢を張らず弱さをさら

け出せばいい。太平洋戦争の御前

会議で『やばっすよ。アメリカに

やられますよ』という人がいたら、

世の中変わっているとおもっけど

なあ」と言っておられたが、我を

張らず素直になりたいな。

素直になるには、無我なる仏の智

慧を聞信させて頂くのが妙薬。

如実知見は

お釈迦様のおさとの心

すべてのものを

ありのまま見なさいと言うこと

ありのままそのま見たら

苦は起こらない

花が咲いたら花をそのまま見る

花が散ったら

散る様をそのまま見る

そのまま ありのままに

ありのまま見ないで

花が散るのは嫌だ

散らせたたくないと思うのが苦

諸行無常の世

どうにもならないことを

あれこれ思い悩む心が

愚痴となり苦となる

悩んで物事が解決するなら



どんなに悩んだっていいけれど

年をとりたくないと言っても

無理なこと

病気になるって

くよくよ悩んでないで

素直に受け入れたら

素直になると

当たり前と思ってたこと

気がつかなかったことが

見えてくる

無我にはなれないまでも

素直になりたいな

二十世紀は、人と人、国と国、自然と人類等々対立と争いの世紀と言われたが、二十一世紀はもっともっと全てが仲良くなれたらいいね。

天真寺 住職 西原 恵照

天真寺 坊守 西原 悦子

天真寺 前住職 西原 正念

天真寺 前坊守 西原 敏子

天真寺 衆徒 村山勝太郎

天真寺 衆徒 山口 武典

天真寺 総代 大枝 義一

天真寺 総代 篠原 英夫

天真寺 総代 松川 正

天真寺門信徒会長 加賀屋達雄

天真寺仏教婦人会長 大枝 義一

天真寺 西原 悦子

今年も宜しくお願い申し上げます。

●今月のことば
欲ふかき 人のこころと
降る雪は 積るにつけても
道も忘るる

寒中お見舞い
申し上げます
ご本山の御正忌報恩講も終わり、もう立春ですが、関東で雪が降るのはこれから・・・
欲の雪に埋もれ、道見失うとも、雪が人も木も家も道も川も一面真っ白にするように、阿弥陀さまのお慈悲に包まれていることを忘れないでね。
称名



本山（京都西本願寺）御正忌報恩講

2月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ（正信偈・和讃線読）
法話、茶話会

○婦人の集い
2月9日（金）午後1時30分



○仏教講座会

2月20日（火）午後1時30分
講師 本願寺布教使
三崎靈証師（福井県）

（ご本山の御正忌報恩講でも法話をされた方です。）

千葉組の行事

○連研修了者研修会

2月17日（土）船橋・了源寺にて



3月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
○教区仏婦研修会 3月1日（木）
○婦人の集い 3月9日（金）
○春の彼岸法要 3月20日（祝）
講師 本願寺布教使
西原 祐 治 師

○ヨーガ教室 2月14日（水）・28日（水）各、午後1時

入門式六名受式

報恩講を前にして行われた入門式に、喜多喜久栄（六実）安井誠子（大金平）・小林繁夫（市川市）・西谷利子（高塚新田）・斎藤美枝（市川市）金子イシ（市川市）一敬称略一の六名の方が受式され、門徒式章・念珠が渡され、住職と大枝総代よりお慶びの言葉と共に聞法に励まれますようとの挨拶がありました。

ご門徒さんを訪ねて

河原塚 詫摩三郎さん



報恩講が昨年11月23日にぎにぎしく勤修されました。

毎年この報恩講には玄関に大輪の美しい菊の花が飾られますが、この菊花を育てられ寄贈下さっている方が詫摩三郎さんです。詫摩さんが菊作りを始めたのは5年前69歳からで「生涯大学園芸科」に入学し、さらに同科と友達に勧められ「松戸千松菊花会」に入会、菊作りに励んでおられます。

毎年10月31日～11月3日に松戸運動公園で開かれる展覧会に出品され入賞されている。菊作りの基本は「土作り、肥料作り、苗作り、芽摘み、さし芽」で此処までがまず大切です。この部分は独創の世界で何種類

もの組み合わせた苗床を作ります。この作業は12月に始まり一年を通じての作業になります。植え付け、病虫害駆除、芽の選定、肥料と水の加減、これらの過程を繰り返して育成し、報恩講にあわせ開花するよう日照時間等を調整していく。

菊花は「右近種」で玄関に展示の3鉢は「盆養」といい一本の茎から三本の枝を育てる。また、受付カウンターのあったのが「福助」という種類である。高さは90～165cmで3個の花が天人、高さ、葉が揃っている、艶と元気がある、花と花弁の大きさ、色つやが揃っている事が大切といわれる。

本人は、土いじりと花作りが好きで、無我の境地雑念の無い境地に成れるのが有り難いといわれる。

詫摩さんの育成を拝見してきましたが、根気とまめ、何よりも菊への愛情と育成への情熱、いのちを育む心が必要となる。

（山口記）



●今月のことば
草も木も生老病死の
四つの苦を
うくる春夏秋冬の色

少しぬくもりを感じる日差しに、丸めた背中をチョット伸ばして耳を澄ますと、風の薫り、川のせせらぎ、土の香り・・・春の足音を感じる季節となりました。
タンポポも人に踏まれても踏まれても立ち上がり太陽に向かって精一杯咲いている。その姿に合掌。



3月の行事



春の彼岸法要

日時 3月20日(祝)
午後1時30分より
講題 「大きないのちに開かれて」
講師 本願寺布教使 西原祐治師

ご門主の随行布教使、東京ビハラー会長・・・として活躍しております。

4月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈・和讃六首引)
法話、茶話会
- 仏教婦人会
3月1日(木) 10時-4時
教区仏婦一日研修会(築地)
3月9日(金) 午後1時30分
天真寺にて「婦人の集い」
○ヨーガ教室 3月14日(水)・
28日(水) 各、午後1時
- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 婦人の集い 4月10日(火)
- 仏教講座会 4月20日(金)

あいさつ

一月下旬の大雪が降った時、早朝より雪かきをしていると、見知らぬ人がお寺の前を歩き過ぎてゆく、本堂に向かって合掌礼拝して行く人、歩道の雪を掃除している私に申し訳なさそうに会釈して行く人、様々である。

そんな時「おはようございます」と声をかけて下さる方があり、私も「おはようございます」と挨拶する。初めての人に声をかけるのはチョット恥ずかしいけど、今度はこちらから「おはようございます」と声をかけると「おはようございます」と声が帰ってくる。なんと気持ちのいいものである。

ご法事で伺った時は、玄関で迎えて下さった方に形ばかりの挨拶の後、まっすぐお仏壇の前に行き、ご本尊(阿弥陀如来)にお念仏でござ挨拶し、そして向きを変えてあらためて、家の方にご挨拶します。だって、この家を護って下さっている如来様だもの・・・

世間では、家の人が仏壇を護っているかのように言われるが、とんでもない思い違い。法語で

我が心のうち

阿弥陀さまをあるじとし

凡夫の心を

あるじとすることなかれ

というのがあったが、凡夫の心が

あるじとなると「私がお仏壇を護っている」となり、阿弥陀さまがあるじとなると「唯、お敬いするだけ」でありましょう。

お寺の前が病院なんだけど、ご門徒以外の方が黙って駐車して行かれる。そんな時、せめてお寺の「あるじ」である阿弥陀さまへのご挨拶ぐらいしてほおいなアと思ったりする。 住職

「インド大地震」義援金受付
口座名「たすけあい募金」

(通信欄に「インド西部地震義援金」と明記)

口座番号 郵便振替

01000041699957

問い合わせ 本山・社会部

☎075(371)5181

天真寺門信徒会に入りませんか

●法座活動・・・自分を見つめ、心のよりどころを見つけませんか(仏教講座会・法要案内・研修会)

●ふれあい活動・・・親睦・社会活動(親睦会・旅行・ボランティア)

●文章活動・・・み教えの中の生活(月刊誌発行・カレンダー等の配布) 会費 年間三千元

※入会希望の方は、入会申込書・会費用振替用紙を送付しますので申し付け下さい。



天真寺門信徒会だより

2001
H13年
4月
Vol. 290

●今月のことば はじめましてと 花は咲く 億年、春を重ねながら

今月の言葉に、こんなことを思い出しました。

他宗の人に「念仏を称えていると地獄に堕ちるぞ」と言われた、あるご門徒は「父も母もお念仏を喜び死んで行きました。この道が地獄への道であろうと、父母が歩んだ道を歩んでいきます」とキッパリと言われたという。「億年、春を重ねる」の言葉に浄土を想う。



4月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈・和讃六首引)
法話、茶話会
- 婦人の集い(総会)
4月10日(火) 11時より
- 仏教講座会
4月20日(金) 午後1時30分
講師 本願寺司教
- 五十嵐 大策 師
- ヨーガ教室 4月11日(水)・
25日(水) 各、午後1時

5月の行事

- 毎、日曜日朝7時「朝の集い」
- 4日(金)「千葉組組会」
- 10日(木)「婦人の集い」
- 20日(日) 午前 門信徒会総会
午後 永代経法要
- 講師 山陰教区教務所長
武田 智憲 師
- 手作り押し花額寄贈
三浦温子さん(流山市駒木)
より手作りの押し花の額が寄贈
され廊下に飾ってありますので
ご鑑賞下さい。

仏教学院へ通って

西原竜哉(住職の長男)

今まで「親鸞聖人はすごい人なんだ」と、みんなが口を揃えて言っていました。

この一年間勉強してみて本当にすごい人なんだと!こんな人が世の中にいたんだと知り驚いた。

聖人は九歳の時、世のはかなさを思い、出家し比叡山へ登っておられるが、僕が九才の時は、お墓のそばを通る時に「南無阿弥陀仏」と怖いから言うぐらいだったのを思うと大きな違いである。

聖人は比叡山時代の二十年間は、比叡山の学問和尚と呼ばれる程一生懸命に勉強された姿は、本当に真面目で自分自身に対して厳しいからこそ悩みに悩みぬいたのだろう。一日一日が戦いであったと思う。

しかし、自分自身が救われる道に出会わなかった所へ、法然上人の専修念仏の事を知られ、比叡山から京都の法然上人の元へ百日間通われ、法然上人と対座して生死いずべき道を尋ねられ、ついに阿弥陀如来のご本願へと帰入されたという。

そんな法然上人との出会い、また「この道しかない」と確信された時、聖人は、どれほどうれしかったのだろう。もし、僕が同じ立

場だったら飛び跳ねて喜んでいるだろう。聖人も飛び跳ねて喜んだのだろうか。今まで僕みたいに中途半端に勉強している人は、逆にどちらへ行こうが迷うであろう。聖人にとっては二十年という比叡山での、ひたむきな求道があったからこそ、本当の教えに遇った時の喜びがあつたのであろう。

「浄土真宗は、南無阿弥陀仏の念仏だけ称えているだけで楽でいい」という話を聞いたことがある。聖人が二十年間道を求めた末、専修念仏であることを考えると誇りに思うようになった。

先日、聖人が教行信證を執筆されたという稲田の西念寺に行った時、坊守さんが一生懸命、聖人の話をして下さる姿に、本当にこの道でいいんだと実感した。

聖人は私達に一生かけて、男の人でも女の人も、僕のような不出来な人間でも救われる道を教えて下さり、私みたいに回り道せず、真っ直ぐお念仏のみ教えに遇つてくれと喚んで下さる。

そんな親鸞聖人の「法」に対する厳しさ「人」に対するやさしさを、御同朋御同行という親鸞聖人の精神を受け継いでいきた



●今月のことば
下がるほど人が
見上げる藤の花

藤の花が咲き乱れ、甘い香りを放つ季節となりました。
藤は下へ下へと花を咲かす、私達も藤の花のように、おごることなく謙虚でありたい。
み教えも聞けば聞くほど、りっぱな人間になるどころか、地獄一定の私であることが知らされる。



5月の行事

永代経法要と

門信徒会総会

5月21日(日)

午前10時 門信徒会総会

午後1時 永代経法要

講師 本願寺山陰教区

教務所長

武田 智憲 師

6月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈・和讃六首引)
法話、茶話会
- 門信徒会役員会
5月6日(日) 午後2時30分
- 婦人の集い
5月11日(金) 午後1時30分
- ヨーガ教室 5月9日(水)
23日(水) 各、午後1時
- 毎、日曜日朝7時「朝の集い」
- 14日(木) 千葉組総代研修会
- 20日(水) 仏教講座会
- 25日-26日 婦人部一泊旅行

住職の独り言

先日初めてのご縁を頂いた方のお葬儀を勤めさせて頂いた。その時の出来事、

「葬儀が終わると外国に行かなくては何りません。ついては、葬儀と一緒に初七日・四十九日も一緒お願ひします。お布施は別に払いますから」と葬家の方から依頼され困惑した。

まア初七日位ならわかるけど、四十九日までではチョット・・・
諭えが悪いかも知れないけど、新車を買って、納車の時に一万キロ点検もやって下さいと言うのと同じ事。そんなこと出来ますか！

ご法事は何のためにやるの、故人のため・・・残された方の務めとして・・・
宗派の規範集には「追善回向の仏事ではなく、今は亡き故人を偲び、それを縁として仏恩報謝の懇念を深める」と明記されている。

その時も言ったことであるが、「四十九日法要は何もお寺さんにお経を読んでもらわなくても、お経本を差し上げますから、人数にこだわらず、集まれる人だけで、四十九日という時間の経過した中で、故人を偲び、みんなでお経を読み、御文章を拝読するだけでもいいですから、四十九日頃して下さい。」と言ったことである。

その点、鹿児島の方は、親戚同志で初七日、二・七、三・七・・・と分担し、それぞれの家の近くで浄土真宗のお寺を探し、ご縁をもたれる。故人を縁として仏法のご縁に遇われる事はいいことだと思う。

ちなみに、今までの最高は、一周忌と三回忌を一緒にお願ひしますと言われたことである。論外！

婦人会総会報告

去、4月10日天真寺仏教婦人会総会が開催され、平成12年度事業報告・決算・監査報告並びに、平成13年度事業計画・予算案が承認可決されました。

次年度事業計画の中で、6月25日(月)ー26日(火)一泊二日で茨城方面へ「親鸞聖人関東御旧跡参拝旅行」が計画されています。詳細は後日お知らせしますのでご予定下さい。



天真寺門信徒会だより

2001
H13年
6月
Vol. 292

●今月のことば
二度とない人生だから
つゆくさのつゆにも
めぐりあいのふしぎを思い
足をとどめてみつめていこう

田植えも終わり、田んぼに緑のジュータンが敷き詰められると、吹く風も爽やかに感じる季節である。最近「癒し」ということが言われるが、私にとっては、こうした自然の風景とお念仏かなア・・どちら私にどんな状態にあるうとそつと包んでいて下さる。



6月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈・和讃六首引)
法話、茶話会

○仏教講座会 6月20日(水)
講師 本願寺布教使
加戸利 円 師

○婦人会の行事
○アソカ園ボランティア
6月12日(火) 10時30分八柱駅

○婦人会一泊旅行
6月25日(月)ー26日(火)
下記参照

7月の行事

○ヨーガ教室 6月13日(水)・
27日(水) 各、午後1時

○千葉組の行事
○総代研修会と組巡回
6月14日(木)千葉・大願寺にて

○毎、日曜日朝7時「朝の集い」
○婦人の集い 7月10日(火)
○仏教講座会 7月20日(祝)

鼻が下に向いとるで
有り難いぞなあ (足利源左)

門信徒会総会・永代経法要報告

5月20日(日)午前中、天真寺門信徒会総会が開催され、平成12年度行事報告・決算・監査報告に引き続き平成13年度行事計画・予算案について審議され、承認可決されました。

また、柏の小川さんより天真寺門信徒会の会費が発足より三千円であり、五千円に値上げして、天真寺からの助成金を無くしてはどうかとの意見が出され、議場で審議されたが、議長より役員会で審議してみますとの仲介があり総会を終了しました。

午後より、永代経法要が賑々しく厳修され、講師の本願寺山陰教区教務所長「武田智憲師」の法話があり、アメリカ開教使時代の苦労話を含めお念仏のお徳をわかりやすくお話下さいました。

門信徒会「会費納入」のお願い

門信徒会々費も皆様のご理解ご協力により順調にお納め頂いておりますが、納入がまだの方はお早めに納入下さるようお願いいたします。

尚、本年度より振込金受領証を以て領収証とさせて頂いております。
会計担当 山口

婦人会親睦一泊旅行参加者募集

今年度の婦人部の親睦旅行は久しぶりに親鸞聖人関東旧蹟参拝旅行を計画しました。一人でも多くのご参加をお待ちしております。



記

旅行期間 平成13年6月25日
ー26日(月・火)一泊二日
旅行会費 23,000円
集合場所 天真寺
集合時間 午前7時30分
申込先 天真寺まで
行程

25日 天真寺ー大覚寺ー西念寺ーいわき湯本温泉
26日 ホテルー小名浜(買物)ーあぶくま洞(見学)ー天真寺(午後5時頃の予定)以上

募集

天真寺門信徒会だよりでは皆様からの投稿をお待ちしております。

住所・氏名・電話番号明記のこと。掲載文には記念品贈呈

●今月のことば
どろ沼の
どろに染らぬ
ハスの花

ハス（蓮華）は、その泥に染まらないところから仏や仏性の清浄性の喩えとされる。また、仏・菩薩は多く蓮華をその座とされています。なお仏典中の蓮華は睡蓮（葉が楕円形のもの）に近いといわれています。私が花なら泥だらけかもね！



大谷本廟の『大賀蓮』
7月下旬から8月上旬に開花

7月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ（正信偈和讃繰り読み）法話・茶話会
- 婦人の集い（話し合い法座）
7月10日（火）午後1時半
- 仏教講座会
7月20日（祝）午後1時半
講師 本願寺布教使
加戸利円師（目黒区）
- ヨガ教室 7月11日（水）
25日（水）各、午後1時

8月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜日、朝
- 盂蘭盆会法要 8月16日（木）
講師 本願寺中央仏教学院
部長 北畠晃融師
- ※毎年ご案内しております。
盆法要案内（名簿同封）は8月1日発行の門信徒会だよりと一緒にご送付申し上げます。
- 次回7月の仏教講座会は祝日（海の日）です。普段来られな
い方は是非聴聞に来て下さい。

募集

お寺の林間学校のご案内
昨今の犯罪の低年齢化
が大きな社会問題化して
おり、学校にあっても、
いじめや学級破壊などの深刻な
状況も生まれています。また、
子供たちは、テレビゲームなど
を通して仮想の現実を親しみ、
命の尊さについてさえ学ぶ機会
も少なくなってきたという状況に
あります。

お寺の林間学校では、浄土真
宗のみ教えに基づき、宗教的な
情操教育を育むとともに、お友
達との共同生活を通して、人と
人とのふれあいの素晴らしさを
再確認してもらいたく東京教区
北ブロックの若手僧侶で実行委
員会を作り計画しております。
お友達と誘い合ってふるってご
参加下さい。

記
期 日 平成13年8月
20日（月）～22日（水）



宿泊場所 ホテル「清晃苑」
（栃木県日光市）

参加対象 小学3年生～中学生
参加費 10,000円/人
参加締切 7月31日

※詳しくは天真寺までお電話
下さい。詳細を送付します。

質問コーナー

Q、阿弥陀経は「如是我聞」で
はじまっていますが、大無量
壽経は「我聞如是」となって
いました。お経はみんな「如
是我聞」でまじまると思つて
いましたがどうしてですか？

A、良く気がつかれましたね。
言われるように、一般には「如
是我聞」となっている場合が
多いのですが、この理由は「阿
弥陀経」を訳したのは鳩摩羅什
（AD344～413）という方です。鳩
摩羅什の訳までの多くの経典
は「我聞如是」とあり、羅什
以後は「如是我聞」となって
います。大無量壽経を訳され
た方は康僧鑑（AD252頃中国に
来られた方）であり、鳩摩羅
什より前の方です。故に大無
量壽経は「我聞所是」で始ま
っています。

今回の質問はちよつと難しい
質問でしたが、天真寺門信徒会
だよりでは皆様からの質問・投
稿をお待ちしています。内容
は問いません。
住所・氏名・電
話番号明記のこ
と。掲載文には
記念品贈呈



天真寺門信徒会だより

2013年
8月
Vol. 294

●今月のことば 暑さ忘れて 陰忘る

暑中お見舞い
申し上げます。
暑い、暑い夏、ぎらぎら
太陽が照りつける日、思わ
ず涼を求めて木陰をさがし
てしまいます。
でも、この夏の暑さが去
ると、涼しかった木陰のあ
りがたさを忘れてしまいま
す。秋になっても、夏の暑
い日に木陰を作ってくれた
木のやさしさを忘れないで
ね!・・・南無阿弥陀仏



8月の行事

孟蘭盆会 法要
8月16日(木)午後1時半
講師 本願寺中央仏教学院
部長 北畠晃融師

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈和讃繰読)
法話・茶話会
○ヨーガ教室 8月8日(水)
22日(水)各、午後1時

9月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日、朝
○秋の彼岸法要 9月23日(日)
―教区・組の行事―
○教区・仏婦一泊研修会
9月5日(水)―6日(木)
○千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
9月18日(火)午後12時45分
「つどい」と「法要」
○千葉組仏壮研修会
9月29日(土)「佐原・浄土寺」
テーマ「位牌」参加者募集中!

お盆の仏壇荘厳

毎年お盆の時期になるとお盆
の迎え方、お荘厳について書い
てますが、なかなか正しいお荘
厳にならないので、今年はポイ
ントを絞って説明します。

ポイント

「お花」よく仏壇の横に大きく立
派な花があるからと、仏壇の中
に花を飾らない方がおられます。
お荘厳の基本ですので、仏壇
の中に仏具用花瓶を用いて必ず
お荘厳しましょう。(尚、蠟燭が
一本の場合は花瓶も一つです。)

「供物」沢山お供えすれば良い訳
ではありません。ゴチャゴチャ
沢山供えないで、仏壇の中に左
右対称に餅・菓子・果物を用い
て、きれいに荘厳しましょう。

八百屋さんで、お盆用のお
供えセット(ほおずきや牛馬
のわら人形の入っているセッ
ト)を買
って供え
る方があ
りますが、
あれはお
他宗用だ
と思っ
て下さい。



西本願寺念仏奉仕団

参加者募集

―洛東二泊三日念仏ゆかりの地を訪ねて

今回で23回目に

なります千葉組念
仏奉仕団左記要綱
により参加者を募
集致します。



お誘い合わせ
多くの方の御参加をお待ちして
おります。

―募集要項―

旅行日 平成13年11月5日(月)

―7日(水) 2泊3日

旅行代金 お一人様 六万二千元

締切日 平成13年9月30日

募集人員 120名

(満員になり次第締切します)

行程

11/5(月)東京駅(9・28発)―

京都―本願寺「念仏奉仕」

―和泉旅館泊

11/6(火)旅館―本願寺「朝参

拝・帰敬式」―旅館―本願

寺「念仏奉仕」(昼食弁当)

―比叡山延暦寺(根本中道

・常行堂)―浮御堂・本福

寺―雄琴温泉(ロイヤルホ

テル雄山庄)

11/7(水)ホテル―法然院―

安楽寺―安養寺―東山閣(昼